

日本での交換留学

韓国芸術総合学校
チョン・ヒョンミン

こんにちは。韓国芸術総合学校からのチョン・ヒョンミンと申します。まず、韓国芸術総合学校の舞踊理論科とお茶の水女子大学芸術表現行動学科、舞踊専攻の交流は今回が初めてだと知っていますが、私がお茶大に来ることができて光栄です。

私がお茶の水女子大学に来るようになったのは特殊科である舞踊理論科は他大学と専攻科目がよく合わない場合が多かったのですが、お茶の水女子大学は舞踊理論科との専攻類似性が高かったからです。お茶の水女子大学では舞踊実技だけでなく多様な理論授業も提供していて、実技授業でも理論の比重がありました。

私が受けたモダンダンスの授業でも解剖学について簡単に学び、筋肉と関節の動きについて探求する時間を持つようにしました。また、実技試験を受けたり ALH 時間にはセルフレポートを書かせましたが、セルフレポートと言うのは自分の姿を動画で撮影、キャプチャーして自ら自分の動きに対する鑑賞、直さなければならない点、意図通りに実現した動きについて考えてみるためでした。韓国の学校では実技授業で実技試験を受けた後にこれを文と写真で整理する作業はあまりしないので課題をする時は少し大変でしたが振り返ってみるとその過程が私をより発展させたということを感じました。



その他の授業の中で一番記憶に残る授業は留学生特設日本語授業である萩原先生の日本語練習 2A 授業でした。日本語練習 2A では自分のウェブサイトを作ってその過程で友達にフィードバックと助言を得たりしながら新しい方式で日本語の練習ができた授業でした。日本語がまだ下手な上にウェブ

サイトも作った経験がなかったので心配もしましたが、友達と先生に手伝ってもらってだんだん完成していくウェブサイトを見ながらやりがいのある授業でした。

正規授業以外にも指導教授の中村先生のおかげで日本舞踊の授業も受けることができました。日本舞踊の授業では着物の着方から、日本舞踊での心構え、短い日本舞踊作品まで学べて、日本現地でないと難しい経験をしたと思って嬉しかったです。

最後には、今学期手伝ってくださった先生の方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。まず、指導教授の中村先生、いつも気を使ってくださって公演や授業など様々な機会を提供して下さって本当にありがとうございます。次に、モダンダンスを一学期の間、熱情的に教えてくださった福本先生にも感謝したいです。おかげさまで短い時間の間に大きな発展を遂げることができました。また、留学生ホームルーム授業から日本語練習 1A,2A 授業を受け持ち、いつも有益な講義をしてくださる萩原先生にも感謝いたします。それから日本語作文授業の韓先生,文法授業のチャナントーン先生,ガルマーエヴァ先生,会話授業のザグルール先生,日本事情演習 1A のデレック先生にも本当にありがとうございます。

